

原子力発電所の敷地の確保(続)

敷地の確保(続)

原子力発電所の敷地の確保に... 望 上げたことがあるが、この問題は... 先月二十八日、通産省の総合エネルギー...

本に備わっているため、電力... 国の場合も、長期的に見た原子力発電所... 活発な審議を開始

活発な審議を開始

長期計画専門部会の分科会

原子力委員会の長期計画専門部会... 活発な審議を開始... 西独仏へ調査団を派遣

比重ます国の役割

まだ少ない研究費の比率

科学技術庁は十月四日、五回目的「科学技術白書」... 比重ます国の役割... まだ少ない研究費の比率

要人相ついで原産を訪問

世界動力会議の海外参加者

十月十九日に閉会した世界... 要人相ついで原産を訪問... 世界動力会議の海外参加者

原子燃料公社社長人形峠... 出展所長になった... 八月一日付で人形峠所長になった...

株式会社 竹中工務店... 文化を支え 暮らしをリードする... 王子製紙

学術会議 原子力開発基礎研究所設置を検討

東の大学研究者養成が目標

高度の研究者養成が目標

日本学術会議の第四十七回総会は十月二十一日に閉会したが、原子力特別委員会(坂田昌一委員長)の経過報告で「原子力開発基礎研究所(仮称)の設立の具体案がまとまりつつある旨、注目されるべき発表がなされた。これは、原子力開発のための学術研究の促進と、高度の研究者の養成を目標として、茨城県海浜村に研究センターを作り、日本原子力研究所の大型設備の利用、独自の基礎研究設備を必要とする研究を推進しようというもので、西の京都大学原子炉実験所と並んで東の大学研究センターとする構想である。

原子力特別委員会は、かねて「大学における原子力計画」を立案し、その中今後五年の具体的計画として「東海村大学研究センター」を設けることとしている。原子力開発基礎研究所の設立案は、それを具体化するために同委員会の原子力開発基礎研究所(部長・向坊隆氏)が中心となって検討審議し、まとめられてつづいて、同研究所の当分の目的として次の四つが掲げられている。

東海村研究所の主要設備(TRR-1、4、リニアック、ホット・ラボラトリー)の共同利用(原子力材料試験炉(昭和四十二年完成予定)の共同利用(放射線影響)による効果に関する基礎研究)これらの実施のため、次の三つの部分で構成される。

放射線機器懇談会も開催

盛会の十周年記念行事

日本原子力産業会議の関西原子力懇談会(委員長・芦原四郎氏)は、発足十周年を記念して、「原子力の日」記念行事の一環で、十月二十四日午前十時から、大「原子力利用展」が二十四日から一週間開催され連日多数の来場者があった。十月二十四日の放射線機器メーカーとユーザーとの懇談会には、関係者約四十名が出席して活発な意見交換を行なった。とくに「原子力の日」ユーザー側から放射線機器の簡易化と価格の低廉化、詳細な取扱書、とくに簡単な機器故障箇所の手直し等についての取扱要領【写真は多数の来場者を集めた原子力利用展】

原子力展示に意欲

第二回ソ連商工業見本市は、十月十五日から二十日、大阪港近くの大森(約一万平方米)を中心に開かれた。巨大な建物の外

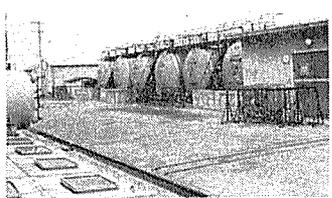
対面

海外からの視察者の話では、日本の法律は放射線や安全性に関する規制が非常に厳格で、その点で、放射線処理の技術レベルは、かなり高いものらしい。そんな自慢話をしながら、若い人たちの顔は明るい。しかし、この人たちは前に述べたように、いろいろな悩んで来た、現在も真剣に考えている。放射線処理に限らず、大学の研究者や技術者が大多数を占める研究所で、高卒卒の者が将来どう技術を生かして行くか、誰かが考えていてくれるのだろうか。そんな不安が、高卒卒を一人前に育てる教育訓練の場がほしい、将来に対する希望を語ってくれ、それが若い人たちの切実な声だ。ところが、従事者として関心があるのは、日常の放射線作業がある廃液処理だ。

もつと将来の夢を

原研 廃棄物処理場を訪問

廃棄物処理場に限り、大学の研究者や技術者が大多数を占める研究所で、高卒卒の者が将来どう技術を生かして行くか、誰かが考えていてくれるのだろうか。そんな不安が、高卒卒を一人前に育てる教育訓練の場がほしい、将来に対する希望を語ってくれ、それが若い人たちの切実な声だ。ところが、従事者として関心があるのは、日常の放射線作業がある廃液処理だ。



原研の廃液処理場は、昨年の秋約四十人の東南アジアからの研修生を迎えた。これはIAEA(国際原子力機関)主催の「放射線処理の管理」という訓練コースを原研が引き受けたからで、処理場の職員全員が即席の英語をならべて、実務の説明に当たった。また外国人と接する機会がなかったで、実際に楽しかった。

日本に見積り依頼

RI利用の施設建設で

パキスタン原子力委員会(PAEC)の代表団が、日本原子力産業会議に、このほど日本原子力産業会議に対して、同国に食品照射および放射線照射による害虫駆除に関する研究施設(ライオン・イオン・ペスト・コントロール・リサーチ・インスティテュート)の建設に、わが国の民間企業が、見積提出するようあせを依頼してきた。パキスタン原子力委員会では、これまで貯蔵穀物(麦および米)の害虫駆除、野菜、果実、魚の保存に放射線照射による効果を確認している。同国は、この研究施設を、十一月一日無事竣工した。

保健物理の講演会

モルガン博士 11月15日 米国オハイオ州研究保健物理部長のK・Z・モルガン博士の「保健物理に関する教育訓練」をテーマとする講演会が、十一月十五日午後一時から東京虎ノ門の共済会館一階会議室で開催される。

小崎正光君帰国

原子力平和利用基金助成の小崎正光君(名古屋大学電気工学部)は、カリフォルニア大学原子力工学部で三年間、「金属材料照射の表面効果」について学び、十一月一日無事帰国した。

杉本朝雄氏が死去

杉本朝雄氏(住友原子力工業顧問、元原研理事)は十一月二日午前零時十分、豊島区大森のがん研付腫瘍院でがん性白血病のため死去。五十五歳。自宅は東京都世田谷区赤堤三丁目二〇の一八。同氏は昭和八年東京大学物理学部を卒業後、理学部物理学研究部を卒業。三十二年六月日本原子力研究所理事になる。原研においては四基の研究用原子炉の建設を指導し、とくにJR-3の建設技術の総力を結集してその建設を推進し、臨界から定格出力運転にいたるまで高速度増殖炉の開発にたずさわった。また高速度増殖炉の建設を早くから着手し、氏はわが国における高速度増殖炉研究の先鞭をつけた。本年十月には、この業績が高く評価され、原子炉建設技術の開発費に貢献した業績により、勲章を授けられた。

現在米大陸の発見者

喫煙者はニコチンとタールとが原因で、これは少数ながら根強い異論がある。ところが、最近のロイヤル・カナダ・タバコ・カンパニーの発表によると、タバコに含まれるニコチンとタールの量は、長年の論争の火に油を注ぎ、結果となつたと報告している。AEC委員長と大陸発見論争とは、きわめて奇妙な取り合せだが、そのもとには、やがて先月六日、大陸発見論争の一人とされて、大々的見聞の一人とされて、いる。リーフ・エリクソンの名を冠した財団の設立が行なわれた。彼ら「真理の海」を、彼らの業績の評価は、その発見のタイミングではなく、その目的の同一性にかかってくる。人類による原子力分岐の進歩をもたらしたハインリッヒ・ベッセル、キエリなどすべてが、例として、前述の米大陸日本人発見説を引用したのが興味本位に伝えられたというのが真相のようだ。

Advertisement for JCD (JAIF CONTROL DATA CENTER) featuring the CDC-3600 system. It lists features like 98K words of memory, high-speed processing, and low cost. It also mentions the Japan Atomic Energy Industry Association and the Electronic Computer Room.

放射線夜の海洋放出

実態の把握が急務

気象研究所主任 猿橋 勝子

原子力発電および燃料の再処理が、日本でも現実の問題になってきた。日本の原子力施設は、海岸から設置されるのが多...

規制は海水中濃度

モニター用に指示水産物

坂本猛氏(原燃)は使用済み燃料の再処理の意義と必要性について、次のように述べた。...

公開下で対策検討

原子力と水産業は共存で

総論討論を始める前に、歴長の三宅泰雄氏(東大)は次のように述べた。...

山空心

大線量放射線の照射が、化学や食品の広い分野にわたって実用化しつつある今日、当該物質が実際に放射線をたけだけ吸収したかの測定は、最も重要なこと...

研究者の真剣な熱意に圧倒

このシンポジウムは、はじめての試みであったけれども、歴長の一人、田島博士の言によれば、シンポジウムを通じて、研究者の熱意が十分に発揮できようという方針が十分に出ている。...



シンポジウム案内

が、国民の中にあるのではないだろうか。原子力産業と水産業が共存共栄してゆくことを念願して。...

オールマイティー 大正海上の住宅・店舗総合保険はオールマイティーという愛称で広く親しまれています。大正海上

生活と産業を化学で結ぶ 電力 電気化学工業株式会社

原子力第一船の基本的性格

望 原子力第一船の建造問題は、七月、原子力委員会が既定方針を固めて、新しい船型で建造することを決めた。新しい船型で建造することを決めた。新しい船型で建造することを決めた。

この船型が、民間出資の船型である。民間出資の船型である。民間出資の船型である。民間出資の船型である。民間出資の船型である。

東電福島原発安全審査の概要

放射性廃棄物の海洋投棄に指針を

原子力委員会の原子力安全専門審査会（会長岡野隆大教授）は十一月一日、今年七月一日付申請された東電電力（株）福島原子力発電所の原子力炉の設置について、同炉の安全性に関する全施設の見直し、敷地の広さ、立地条件および安全防護施設を含めて審査することになった。

審査の結果、原子力委員会は、原子力炉の設置に必要と認められる放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。

東電福島原発の原子力炉は、原子力炉の設置に必要と認められる放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。

原子力委員会は、原子力炉の設置に必要と認められる放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。放射性廃棄物の海洋投棄に指針を示した。

RR-4が設置されて、現に研究中である。RR-4が設置されて、現に研究中である。RR-4が設置されて、現に研究中である。RR-4が設置されて、現に研究中である。

原子力委員会の動力炉開発臨時推進本部（議長・丹羽周夫副議長）は、十月二十五日、原子力委員会に、動力炉の建設に関する調査報告を提出した。

転換炉に専門調査員

推進本部、原型炉の設計へ

原子力委員会の動力炉開発臨時推進本部（議長・丹羽周夫副議長）は、十月二十五日、原子力委員会に、動力炉の建設に関する調査報告を提出した。

原子力物質の輸入申請を受付

通産省、11月18日から

通産省は十一月九日、「原子力物質の輸入申請書」の受付を開始した。原子力物質の輸入申請書」の受付を開始した。原子力物質の輸入申請書」の受付を開始した。

放射能の影響は少ない。放射能の影響は少ない。放射能の影響は少ない。放射能の影響は少ない。放射能の影響は少ない。

旬間メモ 原子力委員会が定例会議で十一月十日開催。原子力委員会の定例会議で十一月十日開催。原子力委員会の定例会議で十一月十日開催。



清水建設株式会社

本社：東京都中央区銀座6-1-3
支店：東京、大阪、名古屋、京都、福岡、仙台、札幌、仙台、仙台、仙台

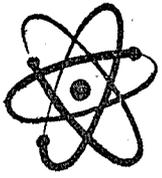
70年の技術と信用で産業界に奉仕する

*トンボ印

■パッキン
■ガスケット
■保温保冷材及び工事
■住宅用断熱材/ホームマツト品
■石綿紡織品
■テフロン

日本アスベスト株式会社

本社：東京都中央区銀座6-1-3
支店：東京、大阪、名古屋、京都、福岡、仙台、札幌、仙台、仙台、仙台



原子力産業新聞

—第372号—
昭和41年11月25日
毎月3回(5日、15日、25日)発行
購読料 1部12円(送料共)
1年分前金400円

昭和31年3月12日第三種郵便物認可 発行所 日本原子力産業会議 東京都港区新橋1丁目1番13号(東電旧館内) 電話(591)6121(代) 振替東京5895番

東電福島、関電美浜炉認可へ

原子力委員が
総理へ答申

両社とも年内着工

関電わが国初の加圧水型炉

原子力委員会委員長有田喜一氏は十一月十七日、関電電力(社長青原義典氏)が商業発電を目的として福井県美浜町に設置しようとするわが国最初の低濃縮ウラン、軽水減速、軽水冷却の加圧水型原子炉(米國WH型)と、出力三十四万KW、およびきき原子炉安全専門審査会(会長岡田隆雄大教授)から、安全性が答申された東京電力(社長木川一隆氏)が福島県双葉町および大熊町に設置しようとする同沸騰水型原子炉(米國GEB型)は、安全性、平和利用、計画的遂行、経理の基礎、技術的能力、災害防止上から、原子炉等規制法第二十四条第一項各号に規定する許可基準に適合しているものと認め、この旨、同日付佐藤総理大臣へ答申した。両社とも総理大臣の最終答申を得て、それぞれWH、GEB社と契約締結後、今年十月に建設工事に着手、昭和四十五年燃料着荷、同年春臨界の予定である。なお発電所の総工事費は、関電が約三百八十八億円(含初装燃料燃料加工費)、東電が約三百八十五億円を予定している。

原子力委員会の原子炉の設置に係る原子力委員会答申にみられる「原子炉等規制法第二十四条に規定する許可基準の適合に関する意見」は次の通り。

原産強化委が初会合

業種別部会を設置の意見も

日本原子力産業会議は十一月十四日午後、東京丸の内日本工業倶楽部で「原産強化特別委員会」の第一回会合をひらき、菅礼之助原産強化委員長から、自ら委員長としてひらく各界の意見を聞き、原産の新体制を定むべきとのあいさつがあった。委員会の運営などについて各委員の自由討議が行なわれた。委員会は副委員長として荏村雄雄(電気事業連合会副会長)、和田恒輔(富士電機相談役)の両氏を選出、年内に結論を得る目標を審議をすすめることになった。第二回は十二月六日(火)に開かれる。【写真は第一回原産強化特別委員会にて挨拶する菅会長】

初会合ではまず菅会長が、今後この委員会の活動の方向性を示し、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。また、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。また、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。

菅会長は、この委員会の活動の方向性を示し、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。また、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。

菅会長は、この委員会の活動の方向性を示し、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。また、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。

菅会長は、この委員会の活動の方向性を示し、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。また、各委員の意見を聞き、原産の強化を図るべきとの意見を述べた。



日本原子力産業会議は十一月十四日午後、東京丸の内日本工業倶楽部で「原産強化特別委員会」の第一回会合をひらき、菅礼之助原産強化委員長から、自ら委員長としてひらく各界の意見を聞き、原産の新体制を定むべきとのあいさつがあった。委員会の運営などについて各委員の自由討議が行なわれた。委員会は副委員長として荏村雄雄(電気事業連合会副会長)、和田恒輔(富士電機相談役)の両氏を選出、年内に結論を得る目標を審議をすすめることになった。第二回は十二月六日(火)に開かれる。【写真は第一回原産強化特別委員会にて挨拶する菅会長】

関西電力美浜炉は「安全」

原子炉安全専門審査会が答申

原子力委員会の原子炉安全専門審査会(会長岡田隆雄大教授)は十一月十六日、今年七月四日付原子力委員会から付託された関西電力美浜原子炉の設置に係る安全性について審査した結果、同発電所原子炉の安全性に関する全施設の計画は、敷地の広さ、立地条件および安全防護施設を含めて妥当であると認め、この旨同日付で原子力委員長へ答申した。

関西電力の原子炉は、商業発電を目的として福井県美浜町(敷地面積半島北端西側、敷地面積五千平方メートル)に設置されるもので、熱出力三十三万KW、電気分出力三十四万KWの加圧水型原子炉である。同炉は、大熱出力、高燃焼度、長尺燃料および燃素濃度調整反応度制御方式が採用されており、装荷

燃料は低濃縮二酸化ウラン約四十四トンである。原子炉自体が小型であるため、耐震設計は比較的容易であるが、同じ軽水炉でも沸騰水型原子炉と違って熱交換器を用いてあるため熱効率の悪いことは免れない。

なお同型炉は、米國のヤンキー、インデアンポイント、サンオノフレをはじめ、仏のセブ、伊のセルネおよびソ連のVVER-I、II、III等の各発電所で既に多くの運転経験を有し、軽水炉としての固有の安全性は高く評価されている。

世界最初の原子力潜水艦「ノーチラス」をはじめ、原子力商船「サンノ号」や「ソ連の砕氷船レーニン号」など船舶として用いられているのもほとんどこの型の原子炉である。

建設は、今後のわが国の原子力開発に必要不可欠なことだ。原産強化特別委員会委員の氏名所記は次の通り(敬称略)。

石田久市(三菱原子力)、内古開寛太郎(日本原子力事業)、大畑弘(電産)、大山松次郎(超高压電力)、加藤博見(関電)、河内武雄(中電)、清成進(日立)、斎藤隆雄(昭電)、笹森建三(原電)、荏村雄雄(電事連)、宗富高行(東大)、高洲紀雄(住友原子力)、田中真次郎、田中直治郎(東電)、角田吉雄(旭化成)、福田節雄(成蹊大)、前田七之進(富士電機)、正宗猪早夫(興銀)、向坊隆(東大)、湯川正夫(八幡製鉄)。

建設は、今後のわが国の原子力開発に必要不可欠なことだ。原産強化特別委員会委員の氏名所記は次の通り(敬称略)。

石田久市(三菱原子力)、内古開寛太郎(日本原子力事業)、大畑弘(電産)、大山松次郎(超高压電力)、加藤博見(関電)、河内武雄(中電)、清成進(日立)、斎藤隆雄(昭電)、笹森建三(原電)、荏村雄雄(電事連)、宗富高行(東大)、高洲紀雄(住友原子力)、田中真次郎、田中直治郎(東電)、角田吉雄(旭化成)、福田節雄(成蹊大)、前田七之進(富士電機)、正宗猪早夫(興銀)、向坊隆(東大)、湯川正夫(八幡製鉄)。

建設は、今後のわが国の原子力開発に必要不可欠なことだ。原産強化特別委員会委員の氏名所記は次の通り(敬称略)。

石田久市(三菱原子力)、内古開寛太郎(日本原子力事業)、大畑弘(電産)、大山松次郎(超高压電力)、加藤博見(関電)、河内武雄(中電)、清成進(日立)、斎藤隆雄(昭電)、笹森建三(原電)、荏村雄雄(電事連)、宗富高行(東大)、高洲紀雄(住友原子力)、田中真次郎、田中直治郎(東電)、角田吉雄(旭化成)、福田節雄(成蹊大)、前田七之進(富士電機)、正宗猪早夫(興銀)、向坊隆(東大)、湯川正夫(八幡製鉄)。

建設は、今後のわが国の原子力開発に必要不可欠なことだ。原産強化特別委員会委員の氏名所記は次の通り(敬称略)。

石田久市(三菱原子力)、内古開寛太郎(日本原子力事業)、大畑弘(電産)、大山松次郎(超高压電力)、加藤博見(関電)、河内武雄(中電)、清成進(日立)、斎藤隆雄(昭電)、笹森建三(原電)、荏村雄雄(電事連)、宗富高行(東大)、高洲紀雄(住友原子力)、田中真次郎、田中直治郎(東電)、角田吉雄(旭化成)、福田節雄(成蹊大)、前田七之進(富士電機)、正宗猪早夫(興銀)、向坊隆(東大)、湯川正夫(八幡製鉄)。

建設は、今後のわが国の原子力開発に必要不可欠なことだ。原産強化特別委員会委員の氏名所記は次の通り(敬称略)。

石田久市(三菱原子力)、内古開寛太郎(日本原子力事業)、大畑弘(電産)、大山松次郎(超高压電力)、加藤博見(関電)、河内武雄(中電)、清成進(日立)、斎藤隆雄(昭電)、笹森建三(原電)、荏村雄雄(電事連)、宗富高行(東大)、高洲紀雄(住友原子力)、田中真次郎、田中直治郎(東電)、角田吉雄(旭化成)、福田節雄(成蹊大)、前田七之進(富士電機)、正宗猪早夫(興銀)、向坊隆(東大)、湯川正夫(八幡製鉄)。

今後の日本にとって技術開発が必要不可欠なこと

省庁から約百にもなる新規要求が出されているが、丁度全体的な検討を終えようとしたところだ。今後はそれを煮詰め、意味のあるものは生かして行くつもりだ。

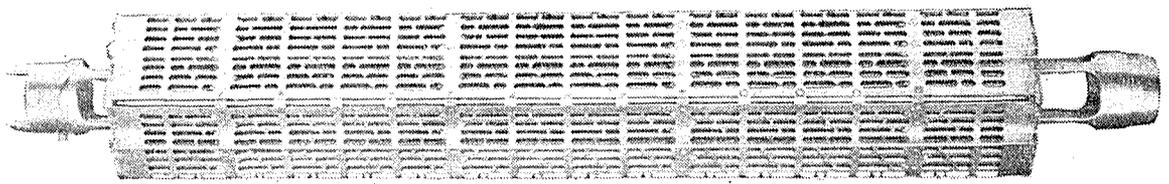
- セラミック燃料
- 合金燃料
- 金属燃料
- その他燃料

PWR燃料体



三菱原子燃料

- 三菱重工業株式会社
- 三菱電機株式会社
- 三菱商事株式会社
- 三菱金属鉱業株式会社
- 三菱化工機株式会社
- 三菱原子力工業株式会社



フォーラム(原産の) 今後の役割

昨年からの今年にかけて、原子力関係の各機関が設立十周年を...

わが国の場合、開発の具体化を迎えて、このようなフォーラムの総合調整の機能は、その必要性が高まりつつある...

理しているような実務の必要が、原子力の分野でも発生してきたというところである...

原子力委員会の動力炉開発臨時推進本部(議長・丹羽高夫原研理事長)は今年六月二十日発足した...

最高品位は二・四%

人形峠によく似た地質



原子燃料公社人形峠出所(所長・柿島民雄氏)は十一月十五日、岡山県倉見東部地帯で高品位のウラン鉱床が発表された...

ひらがらに似ているかを調べていく予定。なお人形峠地帯におけるウラン埋蔵量は、予想を含めては約三千三百ト(平均品位0.51%)...

核燃料物質の保有量を発表

原子力局

科学技術庁原子力局は十一月十七日、原子力委員会に昭和四十二年上期の核燃料物質等保有量を報告した。

昭和41年上期(41.1.1~41.6.30)核燃料物質等保有量一覧

Table showing nuclear fuel material inventory for various countries and materials like U, Th, Pu, and heavy water.

国際協力など検討

推進本部 専門小委で審議たけなわ

原子力委員会の動力炉開発臨時推進本部(議長・丹羽高夫原研理事長)は今年六月二十日発足した...

何問も

原子力委員会 定例会議十一月十七日開催、東電および関西電力の設置等について審議...



富士重工業株式会社

取締役社長 横田信夫

東京都新宿区角管2丁目73番地 電話 東京(343)5311(大代表)

全世界の最新研究成果・技術情報を 早く得るために外国雑誌の予約購読を

- International Journal of Crystal Growth. 1967-Vol. 1: ca. 400 p. Bimonthly. Annual Sub. ¥9,000

上記は、1967年に創刊される雑誌の一部です。各国の雑誌を1967年の初号から購読されるには、今が予約のチャンスです。

東京都新宿区角管1丁目826番地 株式会社 紀伊國屋書店 振替東京125575 電話大代表(354)0131

カナダのウラン資源開発状況

ウランブームの再現

原子燃料
公社理事
神山貞二

筆者は八月二十七日から約一ヶ月、カナダにおけるウラン資源の開発状況とわが国に對する参加の可能性についての調査を終え、十月初め帰国した。最近わが国でもウラン資源確保の問題がわがくにクロウ・ブープとされ、各方面で海外ウラン資源の開発、ウラン鉱の長期買付け契約の可能性などが活発に論議されている。このことは筆者の生々しい体験を通じて、この問題についての所感を語ってみたい。

増産へ着々と準備

価格はポンド当り五・一ドル

一ヶ月余にわたり、カナダ各地方の官庁、会社、現地を訪問し、十月はじめ帰国した。わが国が今回の調査を企画した理由は、いままでなく、将来のウラン需要の大半を海外に依存せざるを得ない日本として、海外ウラン入手の具体的な方策を早急に検討しなくてはならないと、海外にあり、資源、生産力、政治、友好関係等すべての点から対象地域の第一候補と考えられるカナダについて、まず現地調査を行なうことの必要性が痛感されるに至ったからである。

われわれを迎え入れたカナダの情勢はどうか。

かつて最高時に年間一六六千トンを生産し、カナダ産第一位を占めたウラン鉱業も、新規契約の減少の一途をたどり、閉山、吸収合併が相次ぎ、現在は年間生産約四千トンの半分はウラン鉱業の現水準を維持しようとする政府の備蓄買上げによって支えられている。買上げ価格は昨年設定された基本価格がポンド当り四・九から、スカラー・条項により、今年には五・一にスライドされている。この価格は単に操業費をカバーするだけであるが、現在エドモントンとスタンロックスの計四社が政府と買上げ契約を結んでいる。

しかし、世界的に原子力発電の

各国が競って探鉱・買付に

将来の明るい見通しを反映して、とくに探鉱分野では第二のウランブームが進行している。たとえば、世界最大のウラン産地であるエリオットレイク地区の探鉱区をみると、わずか一年半前には探鉱活動が激しく、探鉱区はほぼすべてが買付られていた。現在は、探鉱活動が激しく、探鉱区はほぼすべてが買付られていた。現在は、探鉱活動が激しく、探鉱区はほぼすべてが買付られていた。

日本の進出を歓迎

集中購入システムを採れ

このような情勢の下で、われわれはカナダを訪問したのであるが、七月に西側調査が、さらにわれわれの訪問前にメキシコの調査団がカナダを訪れた後であり、われわれはまさに待ちかまえていたと言えよう。

デニンにおいては、会議の冒頭から日本のウラン需要、それを含めた日本の考え、購入する買付主体等々、問題の核心にふれようとした。同社のアーム・オファ―を出そうとした。このようにカナダのウラン生産者は日本を有力な市場として評価し、積極的な態度であり、彼等が異口同音に口にする言葉は、ヨーロッパ諸国と話を進めると、日本は唯一の例外として、

心算

十月二十七日から四日間、マニラで開催されたIAEA主催の「開発途上国における原子力発電問題に関する研究グループ会議」に出席する機会を得た。

マニラの十一月はのまやりのことであつたが、実際に進出するに当たっては、IAEAの調査団が発表した論文は、大抵は土曜、日曜を返上して熱心に討議を行なつた。会議の中心は所謂開発途上国が原子力発電を導入する可能性と、それにともなう問題点を検討することであつた。そして、この問題点を原子力発電の現状、各地域における原子力発電導入の計画を長期的視野から論じたものであつた。

そして、エカフエ代表のラガバンの論文で述べたように、エカフエ各国のエネルギー事情と電力開発状況より見るに、日本を唯一の例外として、

IAEAマニラ会議に出席して

は、期せずしてこのギャップを埋める役割を果たした結果となつた。すなわち、一九八五年までに五千万KW級のプラントを約四千万KWの原子力発電計画を有するといふ日本は、現在進行中の原子力発電所の建設計画の紹介と相まって、アジアにおける飛びぬかれた先進国であるという印象を与え、J.P.D.R.の積極性は三千万KW級のものを可能である。

このようにみると、長期購入契約にしても、探鉱開発にしても日本としての態勢を整えることが先決であり、とくに世界の動向からして、いたるに時を要するべきでないと思ふ。

ギャップを埋めた日本の論文

なれば、多くの危険をおかすことになるという論旨であつたので、購入者の立場のアジア諸国に強い印象を与えたようである。またIAEAのフランクリンの論文は、再処理施設や燃料加工施設などは小規模な原子力発電計画のもとでは経済性が成立しないから、むしろ外国のサービスに依存した方がよいと述べていたが、これについては活発な議論が行なわれた。

何んか結論を得なかつたが、多くの有益な議論を通じて、問題の所在を明確にしたことを成果として、閉会した。

(科学技術庁原子力局原子力開発管理官 田島展文氏
【投稿歓迎 千五百字以内】)

放射線分析コース受講生募集

日本原子力研究所ラジオアイソトープ研究所では左記要項により受講生を募集します。

研修期間 昭和四十二年一月二十七日から二月八日まで

募集対象 同研究所基礎課程修了者またはこれと同等以上のRに相当の知識を有する者

募集人員 十五名 受講料七千円

講義内容 放射線分析の基礎応用について実験中心の核反応加速器、中性子、原子炉特性、放射線分析、放射線測定による実験の講義と各種装置による実験

申込先 東京都文京区本駒込二丁目二八〇四九 日本原子力研究所ラジオアイソトープ研究所 電話

Annual Report 1965
66 (AIF) 三三三
版一九六六年出版

Forming Uniform Thick Oxide Layers on Zirconium-2 for Fission and Wear Applications in High Temperature Water AECL-2512

版一九六六年出版

Environmental Consequences of Radioactive Waste Disposal AECL-2478 (AECL編) 一九六六年出版

OSap clad Uranium Carbide Fuel Elements AECL-2571 (AECL編) 一九六六年出版



味の素株式会社

営業品目
「味の素」・「ハイ・ミー」・「アジシオ」・エスサンコンス・「味液」・サラダ油・天ぷら油・ごま油・コーンサラダ油・クノールスープ・脱脂大豆・レチン・苛性ソーダ・麵粉・液体塩素・各種アミノ酸類・殺菌食料(コーンフレーク)「コーンフロスト」「シュガーボン」他

本店 東京都中央区宝町1の7 電話(567)7111(大代表)
支店 東京・大阪・福岡・名古屋・札幌・広島・仙台・高松・金沢

※ まつ白な紙です
重ねてお書きになればそのまま
美しいコピーが
できあがります

十條製紙株式会社

東京都中央区銀座東3-4
TEL. 東京(541)2611(大代表)

あらゆる複写事務に

CCP

カーボンペーパー

■書類も手や衣服も汚れません
■一度に何枚も複写できます
■文字は鮮明で消えません
■手間を省きムグをなくします

ご一報いただければ、早速サンプルをお送り致します。